

事 案 一 覧 表

鉄 道 局

平成27年10月27日

申 請 種 別	軌道運送高度化実施計画の変更認定
申 請 年 月 日	平成27年7月28日
受 付	平成27年10月26日
申 請 者 名	<p>(軌道整備事業を実施しようとする者) 【富山駅南北接続線軌道整備事業者】 【富山港線軌道整備事業者】 富山市長 森 雅志</p> <p>(軌道運送事業を実施しようとする者) 【富山駅南北接続線軌道運送事業者】 富山地方鉄道株式会社 代表取締役社長 辻川 徹 【富山港線軌道運送事業者】 富山ライトレール株式会社 代表取締役社長 粟島 康夫</p>
申 請 内 容	<p>【富山港線の追加】 富山県富山市明輪町73番1 から 富山県富山市永楽町字狭間田割2番33 まで 1.19キロメートル</p>
運 輸 局 別	北陸信越運輸局
備 考	

富山駅路面電車南北接続事業（第2期）にかかる 軌道運送高度化実施計画の変更認定申請について

1 申請者の概要

(1) 軌道整備事業を実施しようとする者

- ① 申請者 富山市長 森 雅志
- ② 所在地 富山県富山市新桜町7番38号
- ③ 面積 1,241.77 km²
- ④ 人口 42万2千人
(人口密度) 339.8人/km²
- ⑤ 主な産業 医薬品製剤製造業、玉軸受・ころ軸受製造業、
半導体製造装置製造業
- ⑥ 財政状況 1,682億円 (H27年度一般会計予算額)
- ⑦ その他 自家用自動車保有率 (富山県) 1.71台/世帯 (全国2位)

(2) 軌道運送事業を実施しようとする者

【富山駅南北接続線】

- ① 申請者 富山地方鉄道株式会社 代表取締役社長 辻川 徹
- ② 所在地 富山県富山市桜町一丁目1番36号
- ③ 会社設立日 昭和5年2月11日
- ④ 資本金 1,558百万円
(出資内訳) 立山黒部貫光(株) 11.05%、富山県 3.56%、
北陸電力(株)2.97% その他
- ⑤ 役員・社員数 役員12名 (うち常勤6名)、社員数393名

【富山港線】

- ① 申請者 富山ライトレール株式会社 代表取締役社長 栗島 康夫
- ② 所在地 富山県富山市城川原三丁目3番45号
- ③ 会社設立日 平成16年4月21日
- ④ 資本金 498百万円
(出資内訳) 富山市 33.13%、富山県 16.07%、
北陸電力(株)10.04% その他
- ⑤ 役員・社員数 役員10名 (うち常勤1名)、社員数28名

2 申請の概要【富山港線の追加】

- (1) 申請年月日 平成27年7月28日
- (2) 事業種別 軌道事業
- (3) 区間 富山市明輪町73番1～富山市永楽町字挾間田割2番33

- (4) 営業キロ 1. 19キロ
- (5) 単・複線の別 単線(0.64km)・複線(0.55km)
- (6) 駅数 4駅
- (7) 運転計画 平日 132本/日
編成両数：8両
- (8) 建設費(車両費含む) 1,995百万円
- (9) 開業予定時期 平成32年3月

3 申請の理由

富山市では、鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの実現を目指している。

今回変更申請する富山港線(明輪町～永楽町間)については、路線を延伸し、第1期事業で建設した富山駅南北接続線と接続することにより、富山駅での交通結節機能の強化と公共交通の活性化を図るもの。また、これに合わせ、富山港線の一部区間の複線化、既存区間の上下分離化を行うことにより、利便性の高い公共交通サービスを継続して提供することを目指すもの。

富山市及び富山ライトレール株式会社では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」を活用し、「軌道運送高度化事業」として富山市が軌道整備事業者となって整備を行い、富山ライトレール株式会社が軌道運送事業者となって運行を行う上下分離方式により、平成32年3月の開業を目指し事業を行うものである。

以上の理由により、路面電車南北接続事業の軌道運送高度化実施計画の認定申請に及んだものである。

4 関係者の意向について

(1) 道路管理者

申請者から道路管理者である富山県知事、富山市長に対し、意見を聴取したところ、異存のない旨、回答を得ている

(2) 議会

市議会においても、平成27年度予算案に盛り込まれた同事業に対する委託費などが可決されている。

(3) 沿線の商工団体

南北接続事業に対して富山市に早期実現に向けての要望もあり、賛意を示している。

(4) 沿線住民

住民への説明及び周知については、市長自ら、これまで延べ100回以上のタウンミーティング等へ出席し、同事業への理解を得ている。

(5) バス事業者

富山地方鉄道㈱が路線バスを運行させているが、競合する路線はなく、南北接続事業に対しても合意している。

事業計画の概要

項 目	概 要																	
1 申請者	<p>【富山駅南北接続線】</p> <p>【富山港線】</p> <p>軌道整備事業者名 富山市</p> <p>所在地 富山県富山市新桜町7番38号</p> <p>代表者 富山市長 森 雅志</p> <p>【富山駅南北接続線】</p> <p>軌道運送事業者名 富山地方鉄道株式会社</p> <p>所在地 富山県富山市桜町一丁目1番36号</p> <p>代表者 代表取締役社長 辻川 徹</p> <p>【富山港線】</p> <p>軌道運送事業者名 富山ライトレール株式会社</p> <p>所在地 富山県富山市城川原三丁目3番45号</p> <p>代表者 代表取締役社長 栗島 康夫</p>																	
2 建設区間 及び 予定工期	<p>【富山港線の追加】</p> <p>建設区間 富山市明輪町73番1～ 富山市永楽町字狭間田割2番33</p> <p>営業キロ 1.19km</p> <p>予定工期 平成28年10月～平成33年3月</p> <p>開業予定 平成32年3月</p>																	
3 輸送需要	<p>【富山港線の追加】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">区 分 年 度</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">年 間 輸送人員 (千人)</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">1日平均 輸送人員 (人)</th> <th colspan="2" style="width: 55%;">7ヶ月時最混雑区間</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">通過人員 (人/時)</th> <th style="width: 35%;">混 雑 率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成32年度 (開業時)</td> <td>2,134</td> <td>5,846</td> <td>645</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>平成33年度 (仮)永楽町停 留場開業時)</td> <td>2,152</td> <td>5,896</td> <td>653</td> <td>136</td> </tr> </tbody> </table> <p>(備 考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最混雑区間 奥田中学校前～下奥井間 ○ 平均乗車キロ 平成27年度 4.7km 	区 分 年 度	年 間 輸送人員 (千人)	1日平均 輸送人員 (人)	7ヶ月時最混雑区間		通過人員 (人/時)	混 雑 率 (%)	平成32年度 (開業時)	2,134	5,846	645	134	平成33年度 (仮)永楽町停 留場開業時)	2,152	5,896	653	136
区 分 年 度	年 間 輸送人員 (千人)				1日平均 輸送人員 (人)	7ヶ月時最混雑区間												
		通過人員 (人/時)	混 雑 率 (%)															
平成32年度 (開業時)	2,134	5,846	645	134														
平成33年度 (仮)永楽町停 留場開業時)	2,152	5,896	653	136														

項目	概要																																								
4 運行計画	<p data-bbox="512 394 767 434">【富山港線の追加】</p> <p data-bbox="512 495 660 528">運行系統</p> <ul data-bbox="539 539 1289 629" style="list-style-type: none"> ・既存系統 岩瀬浜～富山駅 ・直通系統 岩瀬浜～富山駅～丸の内～中町～富山駅 <table border="1" data-bbox="507 680 1481 1570"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="507 680 724 781">年度 項目</th> <th data-bbox="724 680 1107 781">平成32年度 (開業時)</th> <th data-bbox="1107 680 1481 781">平成27年度 (現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" data-bbox="507 781 724 882">開業区間</td> <td data-bbox="724 781 1107 882">岩瀬浜～ 富山駅</td> <td data-bbox="1107 781 1481 882">岩瀬浜～ 富山駅北</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="507 882 724 965">営業時間</td> <td data-bbox="724 882 1107 965">5:30～23:50</td> <td data-bbox="1107 882 1481 965">5:30～23:50</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 965 587 1160" rowspan="2">運 転 間 隔</td> <td data-bbox="587 965 724 1061">ピーク時</td> <td data-bbox="724 965 1107 1061">10分(既存系統) —(直通系統)</td> <td data-bbox="1107 965 1481 1061">10分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1061 724 1160">オフピーク時</td> <td data-bbox="724 1061 1107 1160">30分(既存系統) 30分(直通系統)</td> <td data-bbox="1107 1061 1481 1160">15分</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="507 1160 724 1256">所要時分</td> <td data-bbox="724 1160 1107 1256">約25分(既存系統) 約55分(直通系統)</td> <td data-bbox="1107 1160 1481 1256">約23分</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="507 1256 724 1352">列車編成数</td> <td data-bbox="724 1256 1107 1352">TLR0600形×7編成 新規導入×1編成</td> <td data-bbox="1107 1256 1481 1352">TLR0600形×7編成</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="507 1352 724 1424">車両数</td> <td data-bbox="724 1352 1107 1424">8両</td> <td data-bbox="1107 1352 1481 1424">7両</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="507 1424 724 1496">車両定員</td> <td data-bbox="724 1424 1107 1496">80名</td> <td data-bbox="1107 1424 1481 1496">80名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="507 1496 724 1570">ラッシュ時間帯</td> <td data-bbox="724 1496 1107 1570">7時00分～8時00分</td> <td data-bbox="1107 1496 1481 1570">7時00分～8時00分</td> </tr> </tbody> </table>		年度 項目		平成32年度 (開業時)	平成27年度 (現在)	開業区間		岩瀬浜～ 富山駅	岩瀬浜～ 富山駅北	営業時間		5:30～23:50	5:30～23:50	運 転 間 隔	ピーク時	10分(既存系統) —(直通系統)	10分	オフピーク時	30分(既存系統) 30分(直通系統)	15分	所要時分		約25分(既存系統) 約55分(直通系統)	約23分	列車編成数		TLR0600形×7編成 新規導入×1編成	TLR0600形×7編成	車両数		8両	7両	車両定員		80名	80名	ラッシュ時間帯		7時00分～8時00分	7時00分～8時00分
年度 項目		平成32年度 (開業時)	平成27年度 (現在)																																						
開業区間		岩瀬浜～ 富山駅	岩瀬浜～ 富山駅北																																						
営業時間		5:30～23:50	5:30～23:50																																						
運 転 間 隔	ピーク時	10分(既存系統) —(直通系統)	10分																																						
	オフピーク時	30分(既存系統) 30分(直通系統)	15分																																						
所要時分		約25分(既存系統) 約55分(直通系統)	約23分																																						
列車編成数		TLR0600形×7編成 新規導入×1編成	TLR0600形×7編成																																						
車両数		8両	7両																																						
車両定員		80名	80名																																						
ラッシュ時間帯		7時00分～8時00分	7時00分～8時00分																																						
5 建設費	<p data-bbox="512 1615 767 1655">【富山港線の追加】</p> <p data-bbox="512 1715 1294 1756">(1) 建設費総額 (車両購入費除く) 1, 709百万円</p> <p data-bbox="512 1760 1469 1800">(2) 年度別建設費 522百万円【28年度】</p> <p data-bbox="1043 1805 1469 1845">1, 026百万円【30年度】</p> <p data-bbox="1107 1850 1469 1890">161百万円【32年度】</p> <p data-bbox="512 1895 1469 1935">(3) 車両購入費 (1編成) 286百万円【29年度】</p> <p data-bbox="596 1939 1166 1980">※車両は軌道整備事業者 (富山市) 負担</p>																																								

項 目	概 要												
6 資金計画	<p>【富山港線の追加】</p> <p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <table border="1" data-bbox="539 450 1417 824"> <thead> <tr> <th data-bbox="539 450 850 501">区 分</th> <th data-bbox="850 450 1155 501">資 金 種 別</th> <th data-bbox="1155 450 1417 501">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="539 501 850 656">軌道整備事業者 (富 山 市)</td> <td data-bbox="850 501 1155 656">国庫補助金 富山市単独費</td> <td data-bbox="1155 501 1417 656">9 8 2 1, 0 1 3 1, 9 9 5</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 656 850 768">軌道運送事業者 (富山ライトレール㈱)</td> <td data-bbox="850 656 1155 768"></td> <td data-bbox="1155 656 1417 768">0</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 768 850 824">合 計</td> <td data-bbox="850 768 1155 824"></td> <td data-bbox="1155 768 1417 824">1, 9 9 5</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	資 金 種 別	金 額	軌道整備事業者 (富 山 市)	国庫補助金 富山市単独費	9 8 2 1, 0 1 3 1, 9 9 5	軌道運送事業者 (富山ライトレール㈱)		0	合 計		1, 9 9 5
区 分	資 金 種 別	金 額											
軌道整備事業者 (富 山 市)	国庫補助金 富山市単独費	9 8 2 1, 0 1 3 1, 9 9 5											
軌道運送事業者 (富山ライトレール㈱)		0											
合 計		1, 9 9 5											
7 収支試算	<p>【富山港線の追加】</p> <p>(1) 富山ライトレール株式会社</p> <p>収 入：運輸収入、運輸雑収</p> <ul style="list-style-type: none"> ・均一制運賃 200円 (既存系統) ・乗継割引運賃150円 (直通系統) <p>経 費：動力費、その他経費、線路使用料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山ライトレール㈱の実績値を基本として算出 <p>(2) 富山市</p> <p>収 入：線路使用料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山ライトレール㈱の見積り及び富山市の実績値を基本として算出 <p>経 費：人件費(計上なし)</p> <p>修繕費、その他経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山ライトレール㈱の見積り及び富山市の実績値を基本として算出 <p>【収支結果】 (富山ライトレール株式会社、富山市)</p> <p>(損益収支)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業年度から黒字を見込み、欠損は生じない。 <p>(資金収支)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業年度から資金不足は発生しない。 												